

平成24年度 シラバス	学年・期間・区分	3・4年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	留学生	
日本語・日本事情 (Japanese and Japanese Culture)	担当教員	古川 理沙 (Furukawa, Risa)	
	教員室	学生共通棟1階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167)	
	E-Mail		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100分)] × 30回		
[本科目の目標] 日本語能力を向上させ、日本の文化や社会など日本事情に関する知識を習得する			
[本科目の位置付け] 高専での学習のみならず、日本での社会生活全般の基礎となる。			
[学習上の留意点] 講義内容をよく理解するために、毎回復習をすること。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 新聞記事の見出し	4	<input type="checkbox"/> 新聞記事の見出しの文体的特徴を理解し、読みとることができる	各授業内容について、教科書や文献・インターネットを使って、概略を勉強しておく。
2. 新聞記事のリード	4	<input type="checkbox"/> ニュース記事を読みとることができる	
3. インタビュー記事	8	<input type="checkbox"/> インタビュー記事を読みこなすことができる	
4. 手書きの私信	6	<input type="checkbox"/> 手書きの私信を読みとり、私信の書き方を習得することができる	
5. ガイドブック	6	<input type="checkbox"/> 日本の地形や気候、主な観光地についての知識を得ることができる	
-前期末試験-		授業項目1、2、3、4、5について達成度を確認する	
試験答案の返却・解説	2	試験において誤った部分を理解する	
6. 自国の紹介文の作成・発表	8	<input type="checkbox"/> 主体性をもって日本語が運用できる	
7. 異文化間コミュニケーション(1)	8	<input type="checkbox"/> 異文化間コミュニケーションの問題点を意識化することができる	
8. 異文化間コミュニケーション(2)	8	<input type="checkbox"/> 日本の文化について考えることができる	
9. 日本の歴史	4	<input type="checkbox"/> 日本の歴史の概要について知識を得ることができる	
-後期末試験-		授業項目7、8、9について達成度を確認する	
試験答案の返却・解説	2	試験において誤った部分を理解する	
[教科書] 『文化中級日本語Ⅱ』 凡人社			
[参考書・補助教材] 『完全マスター2級 日本語能力試験文法問題対策』 スリーエーネットワーク 『完全マスター1級 日本語能力試験文法問題対策』 スリーエーネットワーク			
[成績評価の基準] 期末試験成績 (60%) + 発表 (40%) - 授業態度 (最大10%)			
[本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連] 1-a, 2-a, 4-b			
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]			
[JABEE との関連]			

Memo

---



---



---



---



---



---



---



---